

神田紅 (講談師)

福岡県出身。早稲田大学商学部中退後、文学座付属演劇研究所を経て女優の道を歩き始めるが、昭和54年講談師・二代目神田山陽の語り口と講談の魅力にとりつかれ門下生となり神田紅を名乗る。平成元年真打昇進・本牧亭にて昇進披露興行。

現在、「芝居講談」という新しいジャンルを開拓、創作講談も数多く手がけ、明るく楽しい芸風で、古典から現代のものまで幅広い作品を得意とする。講談のほかにも、女優、映画評論家、エッセイスト、レポーターとしても活躍。平成14年紅一門を旗揚げし昨年、芸道40年を迎えた。

- * 講談の普及のため毎月講談教室開催（上野広小路亭の「紅塾」）で東京、福岡合わせて100余名の生徒を熱心に指導している。
- * 女流講談の確立と普及活動
- * 平成29年 芸道40周年記念「神田紅独演会」
東京・福岡・北九州の会場で開催
- * 平成13年～現在、全日空機内寄席のパーソナリティー放送中。
- * 現在 日本講談協会会長
- * 落語芸術協会会員